



がくじ



摂南大学図書館報

No. 48

1997. 1

学而時習之、不亦説乎。（「論語」より）

一学びて時にこれを習う、亦た説ばしからずやー

*題字は王羲之の書による

読書の魅力

学校法人大阪工大摂南大学

 総長 藤 田
 理事長
すすむ
進

趣味は、と尋ねられると読書と答えるようにしている。若い頃から時間が有れば、あらゆる方面の書物を、いわゆる濫読した。「時間が有れば」という表現は的確ではないかもしれない。私の場合、読みはじめると勢いがついて次から次へと読み進んでいくので、ろくに睡眠もとらず、仕事に向かうことが多いからである。すこし堅い内容のものを読むと眠りに就きやすいと言われているが、さにあらず。かえって目が冴えてしまう始末で、この頃はつとめて「時間が有れば」を心がけている。

さて、読書の魅力はどこにあるのだろうか。心を豊かにしてくれる、感動を与えてくれる、仕事に役立つ、いろいろな人達の生き方や人生を味わえる等々、数え上げればきりが無い。私の人生を顧みる時、いま一つ付け加えたいことがある。私は昭和7年に学園を卒業したOBであるが、当時は学校に図書館というものが無く、読みたい書物は全て自ら購入しなければならなかった。今の学生諸君には実感が湧かないだろうが、書物は、食物、日用品等に比べ相対的に高価なものであった。それでも手に入るうちはまだ良かった。戦時体制の進行とともに内容も統制され、自由に書物を選び読むことが叶わなくなってしまった。

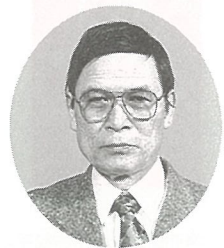
やがて終戦を迎えるが、戦争はあらゆる物資を消耗してしまっており、みんな空腹感をふり払うことが先決で、活字に対する飢えを満たすまでには、暫く時間が必要だった。今にして思えば、青年期における活字への飢えが、私を読書好きにさせたのかもしれない。

今では、大学をはじめ多くの図書館ができ、立派な書店も各地にできたため、必要とする関係の書物を実際に手にとって読み比べることが可能になった。また、インターネットを利用すれば、国内はもとより海外の販売業者にも情報を検索しながら発注できるようになった。ここまで来ると、多くの書物の中から良書を選び出すことが困難になるという贅沢な悩みに直面する。聞くところによると純文学といわれる分野は、雑誌、漫画本に比べ人気がないため、絶版になるものが多いという。出版側の採算を考えれば仕方のないところだが、我々読者側も広告に惑わされることなく、良書を選択する目を持たなければならない。

最後に私の経験から、気に入った書物は無理をしてでも購入することを勧める。自分で買ったものには愛着がわき、手近にあってこそ役に立つからだ。学生諸君には、一冊一冊の積み重ねが人格形成に繋がると信じ、読書の魅力を大いに味わっていただきたい。

としかんミニレクチャー＜第29回＞

鈴木竹雄先生の商法学

法学部 教授 おおたけ やすなみ
大武 泰南

鈴木竹雄先生といっても、若い今の学生にはどういう先生かわからないのは無理のないことですが、第二次世界大戦後から最近まで常に日本の商法学会をリードされ、東京大学教授として、また昭和50年には勲一等瑞宝章、昭和57年には文化功労者、平成元年には文化勲章を受章された、少しでも法律を勉強した人ならば知らない者のない先生です。

しかし惜しまれながら一昨年12月9日に90才でなくなられました。

その鈴木先生を追悼する会が穂子令夫人によって昨年12月1日午後6時からホテルオークラ春日の間で催されご招待を受けました。当日は先生に教えを受けた商法の研究者はもちろんのこと、各法律分野の著名な研究者等約80名が一堂に会して先生の遺徳を偲び合いました。

例えば伊藤正己氏（憲法、英米法）、星野英一氏（民法）、三木月章、新藤幸司氏（民事訴訟法）、団藤重光、平野龍一氏（刑法、刑事訴訟法）、池原季雄氏（国際私法）、味村治氏（元最高裁判所判事）といった方々です。出席者の鈴木先生に対する深い思いは当日の前日11月30日に発行された「鈴木竹雄先生追悼文集」（商事法務研究会）にまとめられております。

何故先生がこのように専攻を超えて大勢の研究者の尊敬を集めたのでしょうか。上にご紹介した追悼文集のなかからいくつかを拾わせていただきます。

1つはその学問のあり方に関してです。「学問には年齢とか経験とか況んや上下など言うものはないということである。鈴木先生はよく御自分の意見が適当でないかと悟ると頭

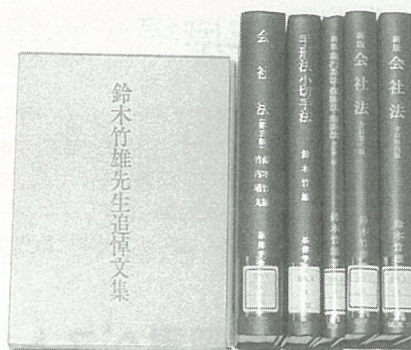
に手をやって“そうだなあ。ぢゃさっきのことは引込めるよ”といわれた。たとえその契機が若い者の反対意見であっても誠に謙虚な方であった」（労働法 石川吉右衛門氏）。「先生の“会社法”や“手形・小切手法”には先生ご自身が考え抜かれた新しい見解がいろいろと現れている。それらは、はじめは奇異に感じられたかもしれないが、次第に通説ないしは多数説になっていったように思われる。これもよく考えられた先生の合理的な精神の現れといえよう。先生のおられること、先生の存在それ自体が合理的だったといっただよいのである」（民法 加藤一郎氏）。「先生は他人の説、主張に対してはまことに寛容でありました。私事にわたりますが、いわゆる助手論文で私は、株式配当は利益配当であるという鈴木説を含む当時の定説を批判し、株式配当も無償交付と同じく株式の分割であると主張いたしました。しかし鈴木先生は、この論文で私を助教授に推薦して下さいました」（商法 竹内昭夫氏—残念なことに昨年12月26日にお亡くなりになりました）。「法制審議会では…先生の発言はいつも良識を代表するものであった。日本学士院でもはっきりと筋をとおすことと、議論が良識を逸脱しないように注意されることで、会員中にあって、つねに重きをなしておられた。（前出団藤氏）。

もう一つは先生の人間としての魅力です。「…このように何から何まで違うのに一専攻や考え方のこと…筆者注—なお、鈴木先生が好きでならなかったのはどうしてであろうか。それは、先生は信念をもって行動され、ご自身の意見も端的にはっきりずばずばといわれ、

ひとの思わくを気にされない、しかし淡泊で、こだわりがなく他人の言うところもよくきかれ寛容であった。まことにさばさばしていて単純明快であった。それは先生の素直で、やさしい、うちとけた、あけっぴろげた、のびのびしたご性格からでているように思われた」(民法 来栖三郎氏)。「…私は商法とは無縁の者ではあるが…ある夏、軽井沢の先生のお宅にお邪魔し…歓談の時を過ごさせて頂いたことも忘れえない。先生の常に率直にして明朗、明快な言動に私は敬服してきた」(アメリカ政治史 齊藤真氏)。「鈴木先生は時間に余裕があれば若い者とよく接して下さった。私なども時折昼休みにお出会いすると“食事まだなら一緒にいこうか”と誘っていただいたり、研究会のコンパの後、鈴木先生から“来ないか”とお願いいただいて、数人で先生のお宅で高級酒をご馳走になったこともあった」(商法 菱田政宏氏)。「私がいつまでも結婚しないのをご夫妻で非常に心配して下さいました。お忙しい中をご夫妻で結婚相談所に連れて行って下さったこともありました。今日、私が落ち着いた研究生生活を送ってられるのも、すべて鈴木先生の御配慮の賜物であり、どんなに感謝しても感謝しつくせない思いであります」(商法 前田庸氏)。

以上、一部ご紹介しました各氏の追悼文によっても鈴木先生の学者としての、また人間としての大きさが如実に語られておりますが、私にも同じような経験が多くあります。そのうちのいくつかは前述の追悼文集の中に書かせていただきましたが、ここでは、商法に関連したことについて述べましょう。

先生は常々商法の学び方について次のようにいわれていました。「商法は経済や企業のあり方と密接な関係をもっているのです、その実態を軽視した考えをしてはならない。そのためには、その動きを適切に把握し、正しく理解して、その中で、どうしても守らなければならない理念は何かを探究する必要がある。いたずらに机上の理論に走ってはならない」。またこんなこともありました。商法の勉強をしているうちにわからないことが出てきたの



で—それが何なのかは昔のことで忘れてしまいましたが一それを整理して先生に質問したところ、しばらく考えておられた末「一寸わからないところがあるから、この次までに考えてくる」といわれました。そのとき、商法の大先生なのに何故直ぐに答えられないのだろうかという思いが頭の中を掠めました。

後日詳しくお答えをいただいたのですが、それからしばらくして、プライベートな席で一緒したとき、そのことを思い出し、お酒が入っていたことも手伝って、「先生でもわからないことがあるのですね」といってしまいました。すると先生は「そのときの判断で答えてしまうと、鈴木の見解はこうだということではひろまり、もし間違っていた場合、学者として取り返しのつかないことにもなりかねないので、少しでも疑念があるときには知らないと言うことにしている」といわれ、やはり大先生はわれわれとは違うと恥じ入り、この教えをその後の私の教訓にいたしております。

鈴木竹雄先生は商法の権威者ですが、上掲した他の分野の方々も言われているように、先生の言葉や行動が示す意義はそれを超えた普遍性をもっております。これからいろいろと勉強や経験が必要な学生にとって裨益するところが大きいと思い、この機会にご紹介しました。先生はこうもいっておられます。「法律学は全人格の表現である」(古瀬村邦夫氏発言 ジュリスト1102号 20頁)、「法は文化であり、立法は文化的な仕事である」(竹内昭夫氏発言 ジュリスト同号 6頁)と。

'95年度摂大図書館貸出図書ランキング

'95年度の図書貸出統計によって明らかになった「分野別貸出図書ベスト1」と「コーナー別人気図書」を紹介します。「分野別貸出図書ベスト1」は本館の普通図書室の図書（各コーナーの図書は除く）と分館の普通図書コーナーの図書を対象としており、「コーナー別人気図書」は本館普通図書室の各コーナーを対象にしています。

なお、複本のある場合は、複本の貸出回数のすべてを合計しました。

分野別貸出図書ベスト1

《情報》

FORTRAN77と数値計算法 杉江日出澄著
培風館 007.643 F 14回

《哲学》

西洋哲学史の基礎知識：西洋哲学の形成と展開
生松敬三著 有斐閣 130.2 S 7回

《歴史》

概説イギリス史：伝統的理解をこえて
青山吉信／今井宏共著 有斐閣 233 A 9回

《政治》

国際関係論＜第2版＞ 衛藤藩古著
東京大学出版会 319 K 21回

《法律》

日本国憲法概説＜全訂第3版＞ 佐藤功著
学陽書房 323.14 S 32回

《経済》

新経済学ライブラリ＜3＞マクロ経済学
浅子和美／加納悟／倉沢資成共著
サイエンス社 331.08 S 3 16回

《経営》

ビジネス・ゼミナール 経営分析入門
森田松太郎著
日本経済新聞社 336.83 M 35回

《労働》

口語六法全書 労働法 松岡三郎著
自由国民社 366.14 R 15回

《数学》

微積分 Spiegel, M. 著
マグロウヒル 413.3 S 12回

《化学》

基礎有機化学＜改訂第2版＞ 梅沢文輔編

東京化学同人 437 U 22回

《薬学》

必修講座・薬剤師国試対策＜1＞薬理学
＜日局12最新版＞ 三澤美和他著
日本工業技術連盟 499.079 H 1 62回

《工業基礎》

工業塑性力学 益田森治著
養賢堂 501.33 M 15回

《建設・土木工学》

実践例100—環境への思いやり—：省資源・
省エネルギー先進事例リポート報告
経済企画庁国民生活局編
大蔵省印刷局 518.52 K 7回

《建築学》

1級建築士合格シリーズ 学科＜3.3＞
建築構造＜3版＞ 笹川明／安宅信行共著
市ヶ谷出版 520.79 1 3/3 13回

《機械工学》

朝倉機械工学全書＜22＞塑性加工学
河合望著 朝倉書店 530.8 A 22 19回

《電気工学》

論理回路工学 久津輪敏郎／江端克彦共著
共立出版 549.3 K 18回

《商業》

現代流通論入門＜新版＞
保田芳昭／加藤義忠共著 有斐閣 675 Y 8回

《演劇》

遺書 松本人志著
朝日新聞社 779.14 M 10回

《言語》

現代英和中辞典 開拓社 833.2 G 141回

《文学》

私は別人 Sheldon, S. 著
アカデミー出版 933 S 15回

FBI心理分析官 Ressler, R. K/Shachtman,
T. 共著 早川書房 936 R 15回

コーナー別人気図書

【就職図書コーナー】

- 1 内定：就職の秘策80 村山樹史著
KKベストセラーズ 377.9 M 11回
- 2 自分を活かす職業の選び方：悔いのない
決断をするために 小島郁夫著
日本実業出版社 366.29 K 10回
- 2 公務員試験によくでるシリーズ：重要テ
ーマ別 政経・社会の頻出問題<改訂版>
資格試験研究会 実務教育出版
377.9 K 10回
- 2 就職バックアップシリーズ<13>就職
活動私の自己PR&志望理由：履歴書・
自己紹介書等を書く、面接で述べる<96>
杉山由美子著 実務教育出版
377.9 S 10回

【新書コーナー】

- 1 技術と人間：技術革新の虚像と実像
星野芳郎著 中央公論社 081 C204 12回
- 2 皇室制度：明治から戦後まで
鈴木正幸著 岩波書店 081 I 289 8回
- 3 日本神話 上田正昭著 岩波書店
081 I 748 7回

【文庫本コーナー】

- 1 だから私は嫌われる ビートたけし著
新潮社 080 S 8回
- 2 ありふれた手法 星新一著
新潮社 080 S 7回
- 2 安全のカード 星新一著
新潮社 080 S 7回
- 2 オペラ座の怪人 ルルー, ガストン著
早川書房 080 H 7回
- 2 三四郎 夏目漱石著 新潮社 080 S 7回
- 2 人間失格 太宰治著 新潮社 080 S 7回
- 2 ミステリー列車が消えた 西村京太郎著
新潮社 080 S 7回

人気作家ベスト10

- ①シドニィ・シェルダン
- ②村上春樹
- ③吉本ばなな
- ④司馬遼太郎
- ⑤ダニエル・キース
- ⑥ダニエル・スティール
- ⑦夏目漱石
- ⑧星 新一
- ⑨赤川次郎 西村京太郎 遠藤周作
(摂南大学図書館'95年度貸出統計による)

- 2 やっぱ私は嫌われる ビートたけし著
新潮社 080 S 7回
- 9 「エディプスの恋人」 筒井康隆著
新潮社 080 S 6回
- 9 「大垣行き345M列車の殺意」
西村京太郎著 新潮文庫 080 S 6回
- 9 「家族八景」 筒井康隆著
新潮社 080 S 6回
- 9 「これからの出来事」 星新一著
新潮社 080 S 6回

【ニューメディアコーナー】

- 1 Softbank booksまるごとメモリブック：
あなたのマシンを徹底的に使いこなす
M&M企画編 ソフトバンク
007.61 M 8回
- 1 アスキー標準コースウェア Visual
Basic for Windows 桜田幸嗣/高宮涼共著
アスキー 007.645 S 8回
- 1 デスクトップ・ミュージック・バイブ
ル<第2版> 高橋信之著
リットーミュージック
007.676 T 8回

【日本語・日本事情コーナー】

- 1 日本語実力養成問題集：日本語能力試験
2級対策用 日本外国語専門学校編
専門教育出版 N810.78 N 7回
- 2 最近日本語事情 稲垣吉彦著
大修館書店 N810.4 I 4回
- 2 日本語講座<4>日本語の語彙と表現
<新装版> 鈴木孝夫著 大修館書店
N810.8 N 4 4回

資料紹介

中国関係視聴覚資料について

国際言語文化学部 助教授 瀬戸^{せと} 宏^{ひろし}

長い間図書館と言えば、紙に印刷された書籍・雑誌を所蔵・閲覧する場所と思われてきた。しかし、いわゆるニューメディア・マルチメディアの発展に伴い、図書館の概念は急速に変わりつつある。印刷物以外の各種視聴覚資料も図書館の重要な所蔵対象と考えられるようになってきたのである。摂大図書館所蔵の中国関係視聴覚資料についてビデオを中心に紹介することにした。

中国関係ビデオでまず挙げなければならないのは、映画である。中国映画が世界で一躍知られるようになったのは、陳凱歌監督の『黄色い大地』（《黄土地》）からであった。陝西省北部の貧しい黄土地帯の農村の一少女を主人公にしたこの作品は、斬新な映像美と鋭いカメラアングルでそれまでの平板な画面に慣れきっていた中国の観客に衝撃を与えた。『黄色い大地』には、紅衛兵世代の陳凱歌監督のそれまでの中国の現実に対する反省と思索が込められている。陳凱歌は、文革後に登場した「第五世代」と呼ばれる映画監督の先駆であり、代表である。

中国映画で次に挙げなければならないのは、張芸謀監督である。張芸謀も、第五世代に属する監督である。張芸謀の作品は、独特の強烈な映像美で定評がある。彼の代表作は1992年の『紅夢』（《大紅灯籠高高掛》）であろう。この作品は、貧しさゆえに金持ちの地主の妾にされた女子学生の運命を描いたもので、正妻と愛人が同居する大家族を通して中国社会の持つ不気味な構造が浮かびあがってくる。この映画にも赤が効果的に使われている。

謝晋は、第五世代よりはかなり上に属する世代で、文化大革命以前からすでに映画監督の実績がある。彼の映画は物語性に重きを置き、中国が抱える社会問題を鋭く描きだすところに特徴がある。彼の代表作『芙蓉鎮』は、

湖南省の農村に生きる一女性を通して文化大革命の悲劇性をダイナミックに描いたものである。

最近の日本では、台湾の映画も注目を集めている。1987年の戒厳令廃止以来、台湾の文化活動も活発化し注目すべき作品も生まれている。その代表が、侯孝賢であろう。彼の『非情城市』は、国民党が反対派に大規模な弾圧を加えた1947年の二・二八事件を扱っている。『戲夢人生』は、台湾伝統の人形劇の使い手を通して日本占領時代の台湾に対する台湾の人々の複雑な思いを描いている。台湾については、中国の一部という考えと中国とは別個の文化圏という考えが台湾の内部でも対立しているが、侯孝賢の映画は、映画を通して「台湾」が強い自己主張を行っている。

最近はテレビドラマのビデオ作品にも、優れたものが増えてきた。摂大図書館には、中国中央電視台（中国中央テレビ局）が制作・放映した連続ドラマ『三国志』のビデオセットがある。この中国制作の『三国志』によって、中国人が本来『三国志』をどのように捉えていたかを簡単に楽しく知ることができる。

図書館所蔵のテレビドラマ・ビデオには、『大地の子』もある。山崎豊子の小説をドラマ化したこの作品の説明は、不要であろう。摂大の学生にも、このテレビドラマの『大地の子』を見て中国語学習を志したという人がかなりいた。まだ見ていない人、もう一度見てみたいという人は、ぜひこのビデオを活用していただきたい。

摂大図書館は、更に『白蛇伝』など中国演劇のビデオもかなり所蔵している。

摂大図書館の視聴覚資料はまだ発展途上で、これから充実させていかなければならない。学生の皆さんも購入希望の資料があれば、ぜひ関係部門に伝えていただきたい。

利 用 者 の 声

今まで僕が図書館に足を運んだのは、テスト勉強やレポート作成でほんの数える程度でした。

しかし、3年生になり年が明けて就職活動を本格的に始める時期になって変わりました。自分のやりたい事、興味がある事が漠然とですが見えてきました。そこで企業の情報や業界の勉強をしようと思い

図書館に行きました。

でもこの時点

では、食品に関する仕事がしたいと考えていただけで、どのような本を読めば良いのかもわかりませんでしたので図書館員の方に相談しました。話を聞いてくれ、検索機を使って希望の本を探してくれました。それからです。図書館を利用することになったのは。

読みたい本が摂大本館にないときは、枚

就職活動に利用し

希望企業をGET

経営情報学部・経営環境情報学科4年

やまざき のぶお
山崎 伸郎

方分館から取り寄せてもらったり、どちらにもないときは希望図書購入制度を使って購入してくれた

りもしました。そのおかげで、自分自身のやりたいことがわかり、就職活動がスー

ズにいきました。

僕の場合、図書館を最大限に利用したおかげで希望

する会社から内定を頂くことができました。

又、ちょっとした利用法ですが、就職活動中に、東京方面に行く場合など、地図をわざわざ買うのがもったいなかったので、ガイドブックを借りたりしました。図書館には、企業研究に必要な本、資料がたくさんそろっています。就職活動に利用してみたいはかがででしょうか。



「摂南大学図書館で入手不可能な本はない。」と、結論から言っておきます。

普段、みなさんの図書館利用の目的はさまざまだと思います。その中でも例えば、「あの著者のあの本を読みたい。」とか「あの文献のこれについての部分が知りたい。」とかの目的で図書館を利用する場合、おそ

らく検索機を使用して探すと思います。検索機の検索条件で「全図書館」

を指定すると、学園内の図書すべてをリストアップできます。こうやって、学園内の図書館にあれば幸いなのですが、もしなかった場合どうするか？

ここで力を発揮してくれるのが『図書館間相互協力』というサービスです。要は学園内にはないけれど、他大学図書館や国立国会図書館などに探している本・雑誌があ

使って得する図書館サービス

工学研究科・社会開発工学専攻1年

やまだ よしゆき
山田 義之

る場合、その本を借りたり、雑誌の記事の複写の依頼ができるという図書館間のサービスです。これらのサービスの利用

方法は簡単で、図書館の方に所蔵する図書

館をさがしてもらい、依頼してもらうよう申請すればよいのです。ただ、

探している本が発刊されて間がない場合で、比較的時間に余裕がある場合は、『希望図書購入制度』を利用するほうがよいでしょう。

以上のようなサービスの内容、利用方法がよくわからない方は、図書館の方に相談してみてください。必ず探している本が入手できるはずですよ。



図書館利用実態調査を実施

図書館では10月に、サービス改善の基礎資料とするため、学部生・大学院生全員を対象とする「摂南大学図書館利用実態調査」を実施しました。

この調査の質問項目は全部で19項目に分かれ、図書館利用の目的、利用後の感想、図書館に備えている資料についての満足度、不十分と思われる資料の種類と分野、希望図書購入制度や図書館間相互貸借制度などのサービ

スの認知度、施設・設備や貸出冊数・貸出期間に関する要望など図書館利用に関する全般的なことを聞く内容になっています。

寄せられた回答は3,061件（38.9%）。回答数が少なめであったのは残念ですが、寄せられた回答は貴重な資料として、今後の運営に役立てていきたいと考えています。

なお、回答結果の詳細は、本紙（50号）で報告する予定にしています。

私大図書館協会西地区部会研究会開催

本学が当番校を務める私大図書館協会平成8年度西地区部会研究会が10月4日、学園創立60周年記念館で開催されました。

研究会のメインテーマは「図書館機能の強化一研究・教育向上への支援」で、長尾真氏（京都大学附属図書館長）の講演「電子図書館の建設をどのようにすすめるか」および、杉

山誠司氏（日本福祉大学附属図書館）の「図書館自動化と電子図書館への小さな模索」など4つの研究発表が行われました。

当日は西日本の私大図書館から101館148名の参加があり、今後の図書館のあり方を考えるうえで大いに有益な研究会となりました。

私大図書館協会阪神地区機械化研究会開催

本学が世話人校を務める私大図書館協会平成8年度第1回阪神地区機械化研究会が11月6日、姉妹校である大阪工大の枚方学舎1号館で開催されました。

この研究会は、コンピュータなどを用いて、図書館機能の向上を目指すもので、今回のテーマは「大阪工大情報科学部における情報設備」。当日は、阪神地区、京都地区に加盟する33大学から44人の参加がありました。

参加者はまず、同学部の情報設備や図書館システムを紹介する講演を聴講し、その後、



4班に分かれてバーチャルリアリティ室、図書室、LL教室など同学部が誇る最新の施設・設備を見学しました。バーチャルリアリティ室では、仮想現実も体験しました。

編集後記

- ★総長・理事長から読書についてのご寄稿をいただきました。味読のうえ今後の読書の糧としてください。
- ★試験期を迎え、1年で最も利用者の多い時期になりました。お互いマナーを守って、図書館を有効に利用してください。
- ★今号にご協力いただいた皆様に心から感謝いたします。

摂南大学図書館報「学而」No.48 1997.1

編集・発行	摂南大学図書館	本館	〒572 大阪府寝屋川市池田中町17-8	TEL. (0720) 39-9112
		枚方分館	〒573-01 大阪府枚方市長尾峠町45-1	TEL. (0720) 66-3102
印刷	(株)関西廣済堂		〒560 大阪府豊中市蛍池西町2-2-1	TEL. (06) 855-1100